

コンサルタントの現場から

(株)ジェムコ日本経営 高橋 功吉

「コンサルタントの現場から」のコラムは、コンサルタントがコンサルティング等の現場で見聞きしたことの中から、参考になるのではないかと四方山話を綴ったものです。

第241回

公明正大

色々な企業を訪問させていただくと感じるのは、各企業で規律や風土は随分違うということだ。それは、ある意味当然のことであり、その企業の生い立ちや理念や思想、経営方針によっても違ってくるからだ。

例えば、徹底して攻めの姿勢で取り組んでいる企業はいつの間にか皆がそのような姿勢で考えるのが当たり前になっており、すごく積極的な集団だなと感ずることがある。

絶対に守るべきこと

このように各企業の風土が異なるのは当然なのだが、その中で、どの企業も絶対に守らなければならないことがある。それは、どんなことがあっても、「公明正大」と言える行動をすることだ。

最近コンプライアンス問題が大きく取り上げられるようになり、法令が遵守されなかったり、社会的倫理に反するような行動があれば、たちどころに企業は信頼を失う時代になった。

経営危機に見舞われているレオパレス21は、10月末で明らかな不備棟数は13,385棟にものぼっているが、これはコスト削減と、物件数の早期拡大を目指して工期短縮を最優先し、企業が絶対に守るべきことが無視された結果が招いたことだ。それだけに「公明正大」ということが大切なのだ。

少し前になるが、日本では、原発にからんで関西電力の多くの役員が高浜町の元助役から多額の金品を受領していたことが大きく取り上げられた。正直、この異常さには驚いたのだが、このくらいは儀礼の範囲というような考え方をしていると、このくらいの範囲はどんどん拡大し、麻痺していくこともある。関西電力は問題発覚後、

「役員ら幹部に対し、中元と歳暮、昇進祝いなどについてはすべて断るよう伝えた」と報道されたが、これは、以前から取引先企業からの贈答品の受領が常態化していたことを示すものだった。

現在、公的な機関でこのような贈答品を受け取っているようなところはない。公的な機関でなくても、公共事業であれば、それに準じた対応が当たり前であり、利用者から絶対に後ろ指を刺されるようなことはあってはならないという基本方針がなかったということだ。

全員の前で堂々と言えること

以前もこのコラムの中で述べたことだが、交際費一つもどんな目的で誰と会食などに使うのか全員の前で言えることが大切だ。「こっそり」の横行が不透明な風土を作ることになる。公のお金の使い方をしていることを誰もが認められるようにすることを意識することだ。

そういう意味では、公私のけじめができていないか否か、今一度、確認してみてもどうだろうか。基準は、全社員の前で堂々と言えるかどうかだ。何事も、全員の前で大きな声で言えることが大切なのだ。

経営者の責任は大きい

長年培われた風土はなかなか変わらない。筆者は、コンプライアンス問題を起こした企業の風土は、経営陣が入れ替わらない限り、変えることは難しいと申し上げている。今まで、それを最優先して

【第4面に続く】

<執筆者プロフィール>



高橋 功吉 (たかはし こうきち)

(株)ジェムコ日本経営 / 常務理事 グローバル事業担当

大手家電メーカーにて、海外経営責任者などの要職を歴任後、ジェムコ日本経営に入社。2007年執行役員、2011年取締役、2015年6月より現職。上場企業経営トップおよびボードメンバーへの顧問型経営支援をはじめ、グローバル戦略の構築から、製造現場の現場力向上、品質革新など、経営全般にわたり幅広く活躍している。実践に裏打ちされた「わかりやすい」コンサルティングが身上。「ものづくり経営入門」(日経BP)他、雑誌や媒体への執筆、講演も多い。

主な資格は、ICMCI(国際公認経営コンサルティング協会)認定コンサルタント、公益社団法人全日本能率連盟認定マスターマネジメントコンサルタント、経済産業大臣登録中小企業診断士

中小企業を支える公的機関の

無料経営相談をご活用ください!

現地に精通した、経験豊かな相談員が、現地商習慣、法規制、税務・会計、法務に係る相談などに無料で対応します。都外企業やタイ企業にもご利用頂いております。

●ご相談例

- 自社で使用する金型の輸入・販売ライセンスはないが、輸入しなくてはいけなくなった……。手続きはどうすればいいの?
- タイ出張で年間180日を超えてしまい。タイの税務当局からは1年分の納税をするように言われたが、日本の本社側と意見が食い違ってしまい、何か良い方法を教えてほしい。
- 解雇した従業員から労働裁判の提起があった。今後の流れや対応策を教えてほしい。
- 税金の還付請求をしたのですが、還付されるまでに時間がかかりすぎて困っています。なぜこんなに時間がかかってしまうのか?良い対応策を教えてほしい。

●経営相談以外の事でもお気軽にご相談・ご利用ください。

●まずは右記のいずれかの方法で、お気軽にお問い合わせください。

相談時間

平日 13:00~17:00(祝祭日、年末年始を除く)

相談日程

- 月 経営全般、税務、幅広い分野に対応
- 火 タイの人事労務・紛争解決及びCLMの法務
- 水 経営全般、サービス業・実務面に対応
- 木 税務・会計面、経営全般に対応
- 金 経営全般、経営戦略・財務に対応

相談員



梅木 英徹
Hidetoshi Umeki



中尾 英明
Hideaki Nakao



森山 太郎
Taro Moriyama



吉越 廉朗
Yasuro Yoshikoshi



藪本 雄登
Yuto Yabumoto



倉地 準之輔
Junnosuke Kurachi



松崎 勇人
Hayato Matsuzaki



マッチング支援



セミナー開催



交流会開催



商談ルーム提供



現地情報提供

(公財) 東京都中小企業振興公社タイ事務所

20 Floor Interchange21 Bldg, 399 SUKHUMVIT ROAD, KLONGTOEY NUA, WATTANA, BANGKOK 10110 THAILAND



WEBサイトのお問合せフォームから <https://www.topics.tho.tokyo-trade-center.or.jp/jp/contact/>



電話 +66(0)2-611-2641



Eメール thai-branch@tokyo-kosha.or.jp

【第3面から続く】

こなかった人が、急にコンプライアンス重視を言い出しても、今更なんだと思ふ従業員は必ずいるからだ。今の風土を作ったのは経営者だ。経営者が、日頃から何を最優先せよと言っているかで企業の風土も変わってくるのだ。

パーツの相場見通し

Dealer's insight

山崎 浩幸

みずほ銀行

ドルパーツはレンジ内の動きを継続

昨年12月19日はドルパーツは30.20付近でスタート。前日のタイ金融政策決定会合が無難な結果に終わると、引き続き同水準での値動きが継続する。米のフィラデルフィア連銀景況指数が予想8.0のところ、0.3と大きく予想を裏切る結果に、やや軟調に反応。その後は、クリスマス休暇と年末年始とを控えて薄商いの中で、年末にかけてじりじりと30.10台半ばまで下落した。

20日には米国の第3四半期GDPが事前予想通りとなる2.1%と発表された。23日に発表されたタイ通関ベースの輸出は前年同月比でマイナス7.39%と予想を上回るマイナス。一方同輸入はマイナス13.78%であり、こちらも予想を大きく上回り来年のタイ経済の行方に陰を落とす結果。26日にはタイ政府が閣議でインフレ率目標を1～3%へ狭めるタイ中銀(BOT)方針を承認したとの報道がなされた。30日の日中まで30.10台半ばでの値動きが続いた。30日の引け間際に、急落し瞬く間に30割れとなり、オフショア時間で、29.90付近までの下落。翌31日～1月1日にかけて、一時29.70となる等、急激なパーツ高が進行した。その後、1月2日に入り、タイのマーケットがオープンすると、30.10台半ばへ値を戻し、その後も同水準での値動きが続いた。

経営を進める上で、何が大切かわかっていない人は経営を担ってはならない。従業員の安全を最優先しなかったり、平気で、どうせわからないからと言って約束を守らなくても放置するような経営者がいる企業に明日は無い。経営を担う立場の人は、今一度、絶対に守るべきことは何か、確認していただきたい。

翌週に入っても同水準での値動きが続いたが、7日にイランがイラクの米軍施設に攻撃したとの報道に、タイパーツは売りに反応し一時30.30を上回る上昇をみせた。その後は30.30前後での値動きとなっている。

ドルパーツは引続き同水準での値動きが続くか

年末の低流動性の中で、一気に30をブレイクすると、一時29.70を割込んだ。オフショアでの値動きであった為、一部の投機的な資金による変動かと思われる。一旦は30割れを達成したことから、下押し圧力が弱まることを期待したいが、ソレイマニ指令官殺害、その後のイランによる報復といった、一連の米、イラン間での緊張感の高まりはリスクオフマーケットへといざなっているようにも思われる。この問題は、米国の出方が次の焦点となりそうであるが、大きなマーケットトピックとして注意が必要だ。ドル円では円高に反応しているが、問題を楽観視する見方からか、一旦円高となるも、再び値を戻す展開。一旦はマーケットは織り込んだのか、現時点ではそこまでリスクオフ要因としてみなしていないのか、判断するには早過ぎるのかもしれないが、今後もこの問題が続くとなれば、相場への影響は避けられないものになるだろう。米中貿易協議やBrexitと異なり、長期化するものとマーケットでは考えていないように思えるが、当面はこの米・イラン間の緊張感の高まりによるリスクオフ的なマーケットの動きにタイパーツもふらされる展開かと想定している。

一方で30割れはタイ中銀としても許容できないものとして、30台前半のレンジでの推移が続くものと予想する。(1月8日12:00)

Be 1st Smart TPN Mastercard

わたしだけの便利な1枚！
バンコック銀行のATMカード

Be 1st Smart

現金の引出しをはじめ、デビット機能でお食事やお買物のお支払、インターネットショッピングにもご利用いただけます。



バンコック銀行「ジャパンサービス」

口座開設、ATMカードの発行はお近くのバンコック銀行各支店で。
その他ご質問は、1333バンコック銀行のコールセンターまたは、
www.bangkokbank.com/japaneseをご参照下さい。